

Koma Command for BricsCAD マニュアル

●Koma Command(コマ コマンド)について

Koma Command for BricsCAD の提供者は 駒 正幸 様です。

本コマンドの修正・改変・再配布は禁止されております。

免債

本コマンドを使用した結果、どのような損害が生じても補償されません。

サポート

フリーツールのためサポートはございません。

本ツールのご意見・お問い合わせにつきましては、ビージェソフト HP からお問い合わせください。

(お問い合わせページ)

<http://www.bj-soft.jp/bj-contact/>

※お問い合わせ内容によって、KomaCommand の作者である 駒 正幸 様とおお客様の社名、お名前、メールアドレスを共有させていただき、駒様から直接、メールで返信させていただく場合があります。予めご了承ください。

BricsCAD 動作バージョン : V14、V15、V16、V17

ダウンロードファイル : KomaCommand.zip

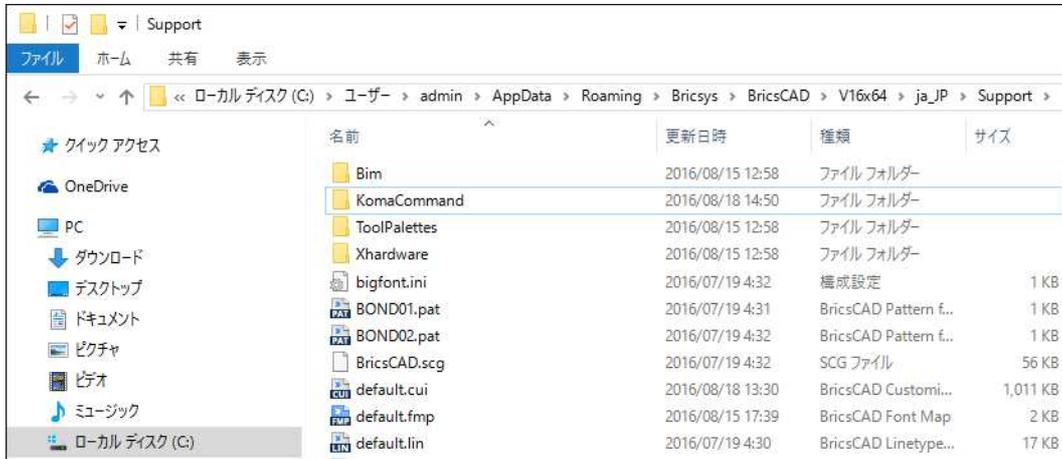
KomaCommand.zip 解凍後の構成

フォルダ構成		モジュール	提供コマンド
cui		KomaCommand.cui	メニューファイル
KomaCommand¥	Auxline	AL+.sld ALA.sld ALB.sld ALH.sld ALV.sld Auxline.DCL Auxline.des	補助線作図 (aux)
	dti	Dimensional tolerance.dcl dti.des	交差寸法記入
	it	As you like.txt fixedphrasebox.dcl readtextfile.des	文字挿入
manual		KomaCommand Manual.pdf	本マニュアル

●Koma Command(コマ コマンド)使用準備

1.「KomaCommand」フォルダを任意の場所にコピーします。

例 : C:\%Users%\<ログオンユーザ>\%AppData%\Roaming%\Bricsys%\BricsCAD%\V16x64%ja_JP\Support



2. BricsCAD のファイルサーチパスに登録します。

BricsCAD を起動し、[設定]-[設定]を選択します。

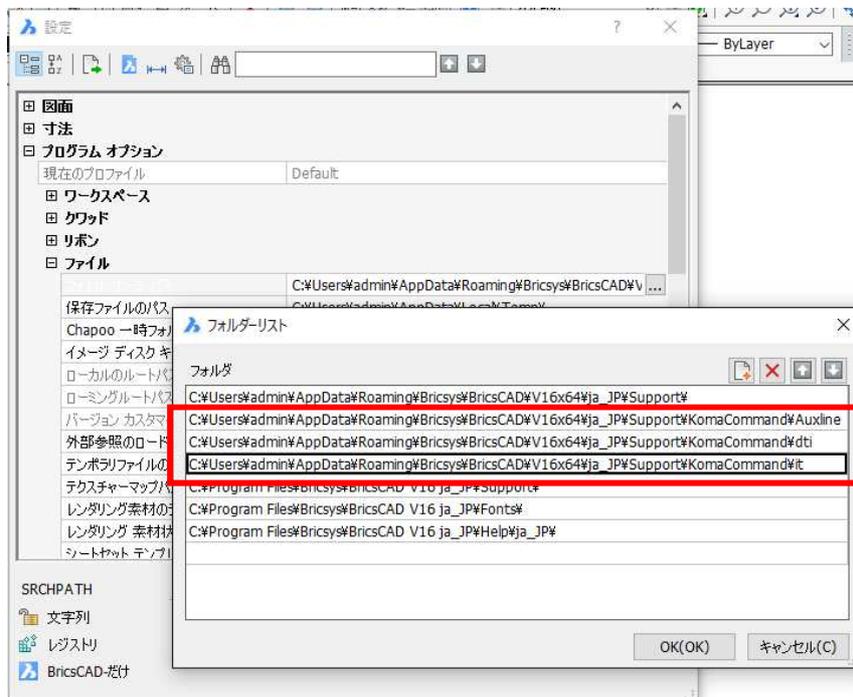
設定ダイアログで「プログラムオプション」「ファイル」を表示し「ファイルサーチパス」の右項目をクリックします。

[...]参照アイコンをクリックし、表示されるフォルダリストにパスを登録します。

C:\%Users%\<ログオンユーザ>\%AppData%\Roaming%\Bricsys%\BricsCAD%\V16x64%ja_JP\Support\%KomaCommand%\Auxline

C:\%Users%\<ログオンユーザ>\%AppData%\Roaming%\Bricsys%\BricsCAD%\V16x64%ja_JP\Support\%KomaCommand%\dti

C:\%Users%\<ログオンユーザ>\%AppData%\Roaming%\Bricsys%\BricsCAD%\V16x64%ja_JP\Support\%KomaCommand%\t



[OK]をクリックします。

設定ダイアログの[×]をクリックして終了します。

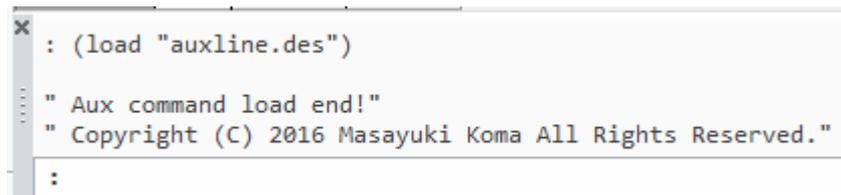
●補助線作図コマンド (aux)

補助線作図コマンド(Auxline)は、BricsCAD で簡単に各種補助線を簡単に作図するためのコマンドです。

●コマンド実行方法

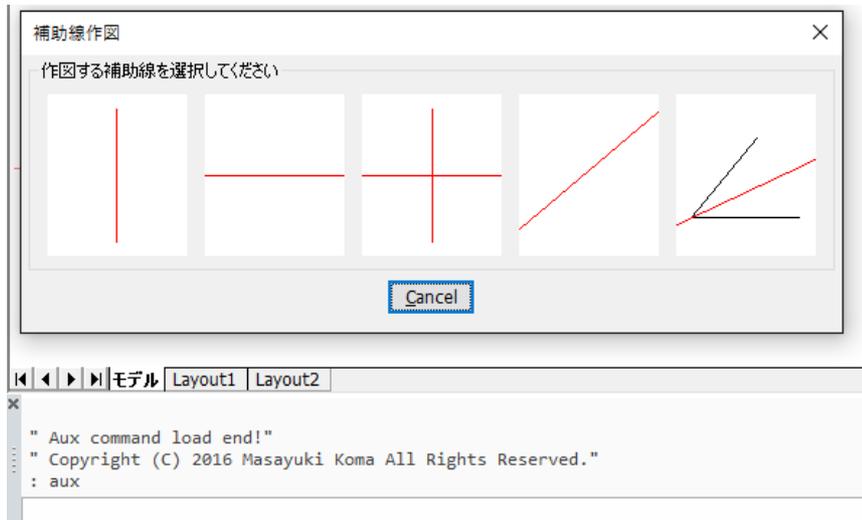
1. BricsCAD を起動します。
2. コマンドバーに以下のように入力し、Enter を押します。

(load "auxline.des")



```
: (load "auxline.des")  
" Aux command load end!"  
" Copyright (C) 2016 Masayuki Koma All Rights Reserved."  
:
```

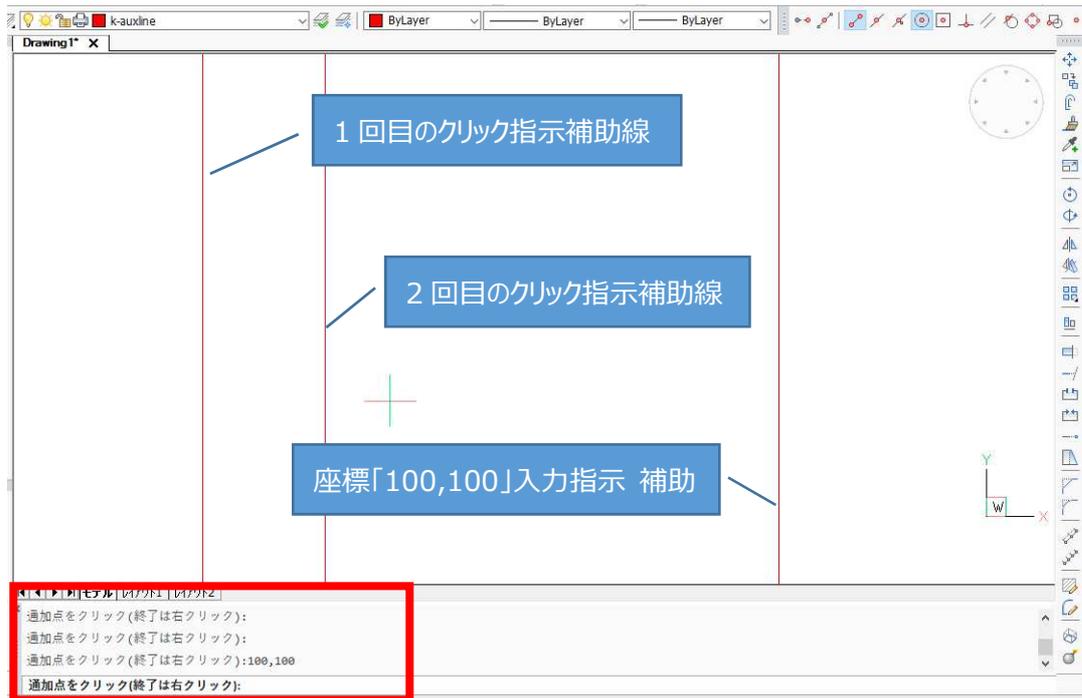
3. コマンドバーに“aux” と入力し Enter を押します。



補助線作図ダイアログが表示されます

4. 何れかのパネルをクリックします。補助線作図ダイアログが一時的に非表示になります。

5. 補助線を作図する位置を任意にクリックします。または座標を入力し、指示します。



6. Enter を押します。コマンドが終了します。

●コマンド仕様

図形タイプ：構築線

作画画層：k-auxline (赤)

コマンド実行時の動作：

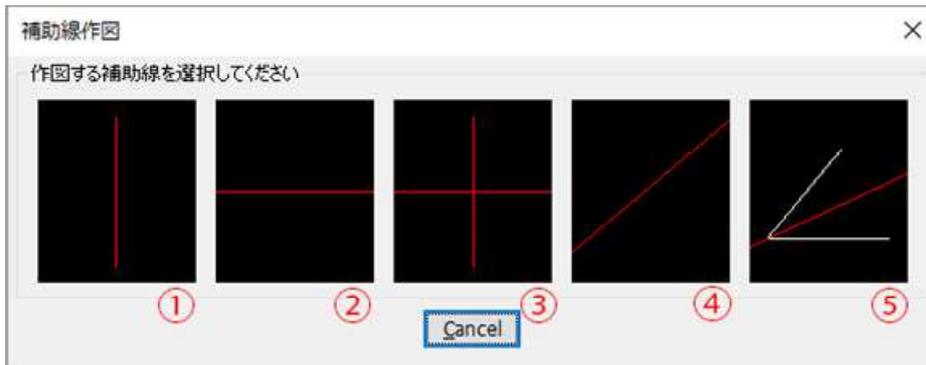
カレント画層を k-auxline に変更します。

図面に k-auxline 画層が無い場合、k-auxline(色：赤)画層を自動作成します。

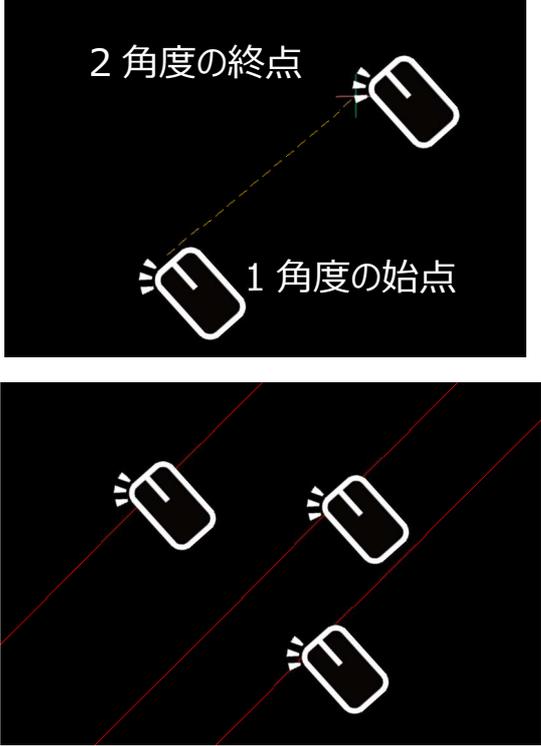
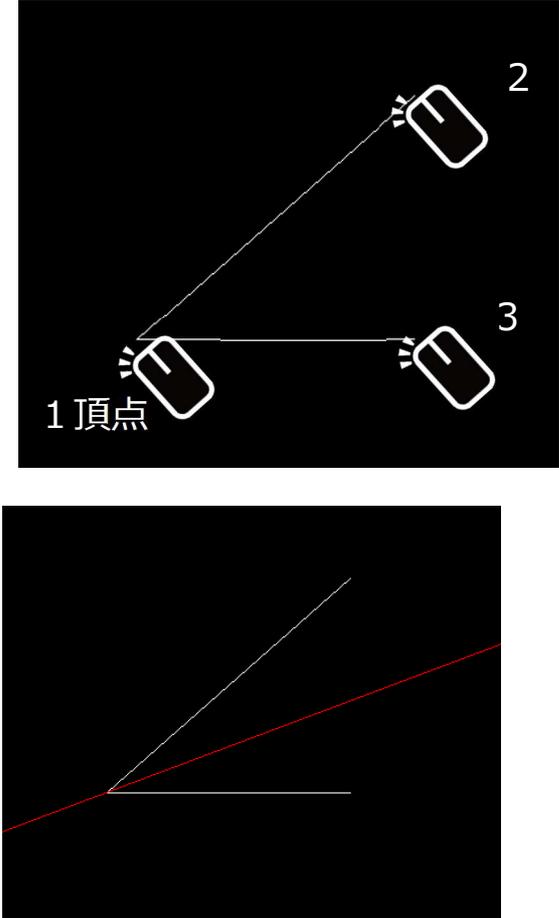
図面に k-auxline 画層が存在する場合は既存の k-auxline 画層に作画します。既存の色は変更されません。

k-auxline 画層が非表示、フリーズ、ロックされている場合は、コマンド実行時に表示、フリーズ解除、ロック解除します。

●補助線作図パネル説明



説明	イメージ
<p>① 縦補助線 クリックした位置から上下縦方向に補助線を連続作図します。</p>	
<p>② 横補助線 クリックした位置から横方向に補助線を連続作図します。</p>	
<p>③ 十字補助線 クリックした位置から縦横十字に構築線を使った補助線を連続作図します。</p>	

説明	イメージ
<p>④指定角度補助線(角度 2 指示)</p> <p>2 点(角度の始点、終点)で角度を指定し、その角度の補助線を連続作図します。</p>	
<p>⑤指定角度の半分の角度の補助線(角度 3 点指示)</p> <p>3 点(角度の頂点、頂点と結ぶ辺の 1 点、もう片方の辺の 1 点)で角度を指定し、その半分の角度の補助線を作図します。</p>	

●交差寸法記入コマンド (dti)

交差寸法記入コマンド(DTI)は、選択した寸法値を自動取得し、その値に適した公差値を挿入するコマンドです。

●コマンド実行方法

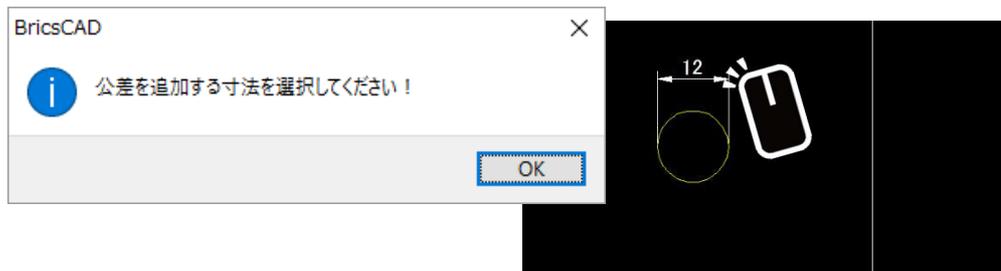
1. BricsCAD を起動します。
2. コマンドバーに以下のように入力し、Enter を押します。

(load "dti.des")

```
x : (load "dti.des")
...
" Dti command load end!"
" Copyright (C) 2016 Masayuki Koma All Rights Reserved."
:
```

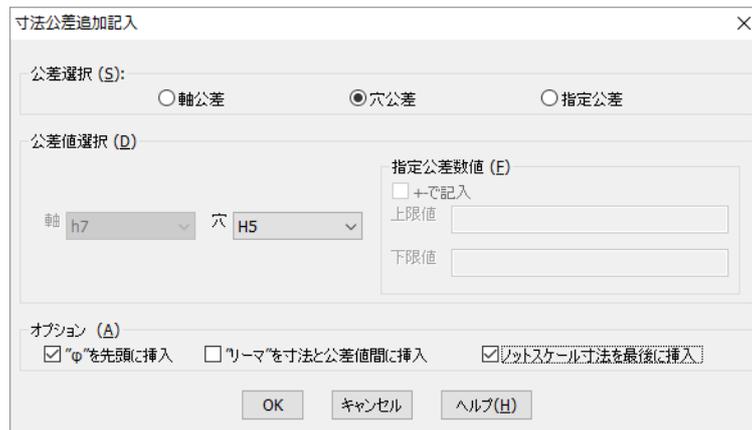
3. コマンドバーに“dti” と入力し Enter を押します。

メッセージが表示されます。



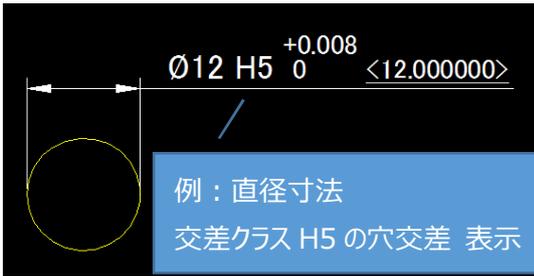
4. メッセージの[OK]をクリックし、交差を追加する寸法を指示します。

寸法公差追加記入ダイアログが表示します。

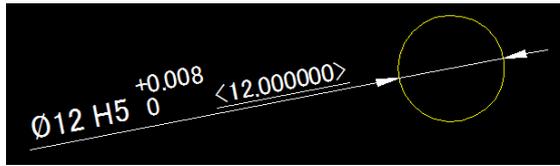


5. ダイアログの各項目を設定します。[OK]をクリックします。

入力例 1



入力例 2

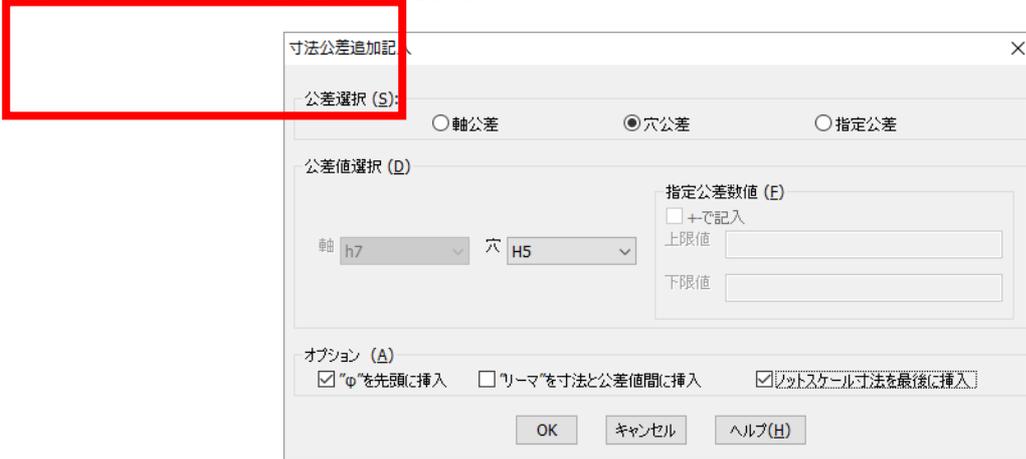


●コマンド仕様

適用できる寸法値は上限 500mm です。

入力された公差値は寸法プロパティの「寸法値の優先」に登録されます。寸法プロパティの「公差」には反映されません。寸法値をダブルクリックすることで編集が可能です。

●寸法公差追加記入ダイアログ説明



公差選択：寸法の作図されているオブジェクトの形状に合わせて軸公差、穴公差を選択します。
自分で公差値を入力する場合には指定公差を選択してください。

公差値選択：公差選択で軸公差、穴公差を選択した場合、公差クラスを選択するだけで公差値を作図できます。
指定公差を選択した場合、ここで公差値を入力してください。

オプション：オプションで「φ / リーマ / ノットスケール寸法」を公差寸法に含めることができます。

●文字列挿入コマンド (it)

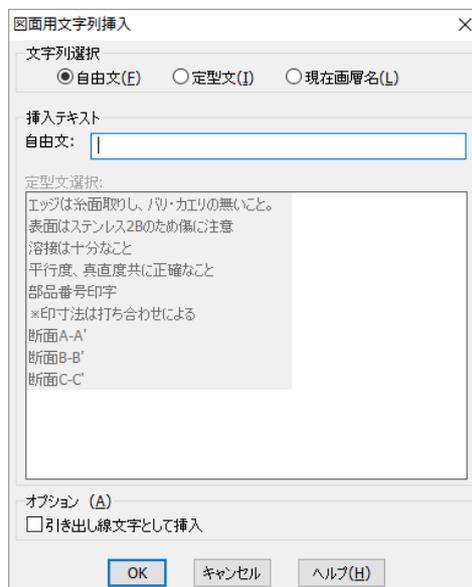
文字列挿入コマンド(it)は、よく使用する文字列を登録済みのリストから選択して配置するコマンドです。

●コマンド実行方法

1. BricsCAD を起動します。
2. コマンドバーに以下のように入力し、Enter を押します。
(load "readtextfile.des")

```
x : (load "readtextfile.des")
...
" It comandnd load end!"
" Copyright (C) 2016 Masayuki Koma All Rights Reserved."
:
```

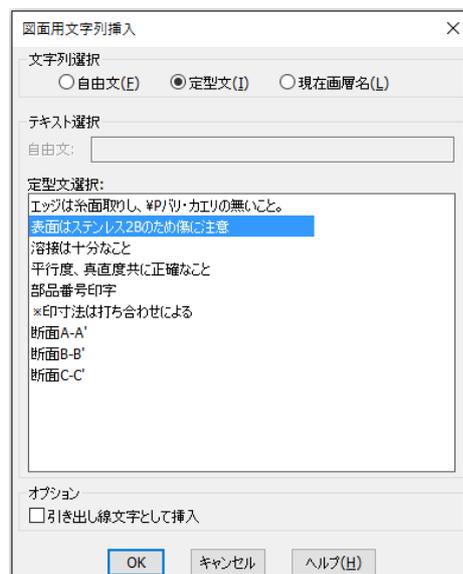
3. コマンドバーに"it" と入力し Enter を押します。図面用文字列挿入ダイアログが表示されます。



4. 「文字列選択」から入力種類を選択します。(例：定型文)
5. 定型文選択 がアクティブになります。
文字列を選択し、[OK]をクリックします。

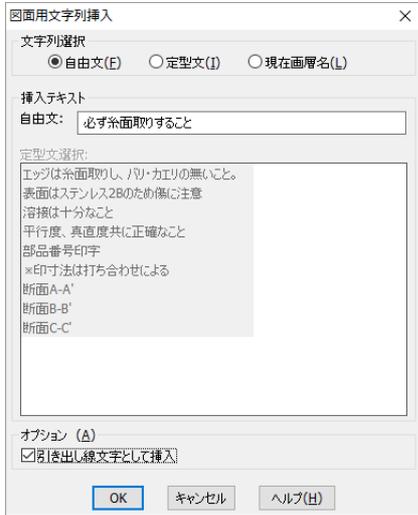
6. 図面用文字列挿入ダイアログが非表示になります。
図面上で文字列を配置する任意の点をクリックします。
コマンドが終了します。

入力結果です。



1、自由文字列を挿入する。

引き出し線文字として自由文字列を挿入する場合、以下のように設定して OK を押します。

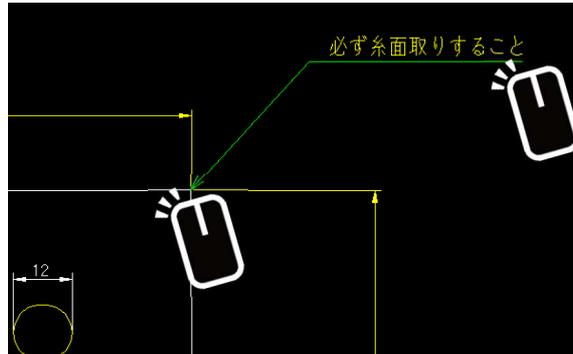


文字列選択 を「自由文」

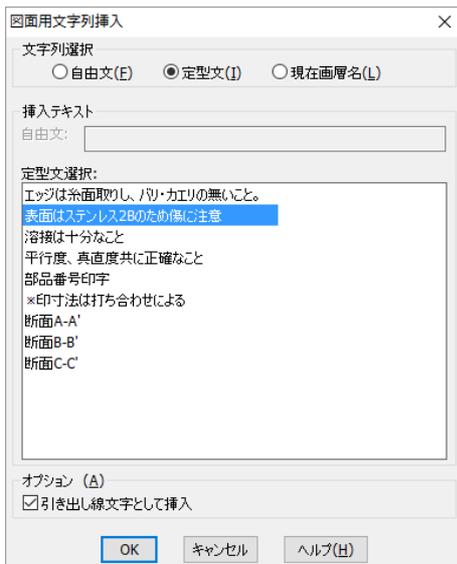
挿入テキスト に挿入する文字列を記入

引き出し文字列として挿入する場合には
「引き出し線文字として挿入」にチェックを入れる。

引き出し線文字として挿入する場合と同じように引き出し線の起点と
文字位置をクリックして文字を挿入します。



2、定型文を挿入する。



文字列選択 を「定型文」

定型文リストから挿入したい文字列を選択

引き出し文字列として挿入する場合には
「引き出し線文字として挿入」にチェックを入れる。

引き出し線文字として挿入する場合と同じように引き出し線の起点と
文字位置をクリックして文字を挿入します。



●コマンド仕様

図形タイプ：マルチテキスト(文字)、引出し線（引出線）

文字スタイル：style1

配置画層：6（マルチテキスト）、5（引出線）

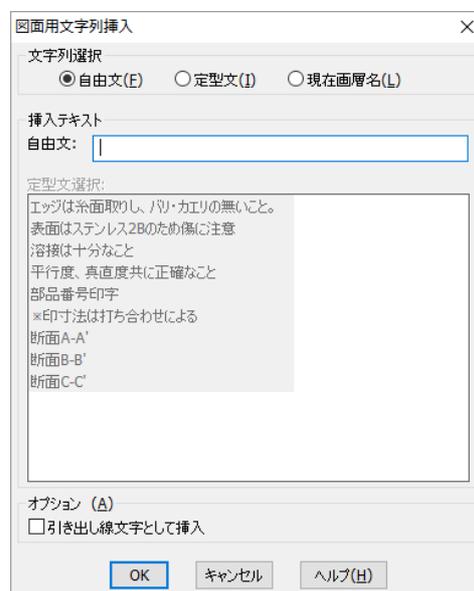
コマンド実行時の動作：

図面に6、5画層が無い場合、6(色：黄)、5(色：緑)画層を自動作成します。

図面に6、5画層が存在する場合は既存の6、5画層に作画します。

図面に文字スタイル style1 が無い場合は自動的に作成し、カレントスタイルにします。

●図面用文字列挿入ダイアログ説明



文字列選択：「自由文 / 定型文 / 現在画層名」から文字の挿入方法を指定します。

挿入テキスト：「文字列選択」で自由文を選択した際に記入できます。文字列を記入して OK を押すと、図面上に挿入することができます。

定型文選択：「文字列選択」で定型文を選択した際に、リストボックス内の定型文を選択して OK を押すと図面上に挿入することができます。
※定型文リストの編集方法は後述。

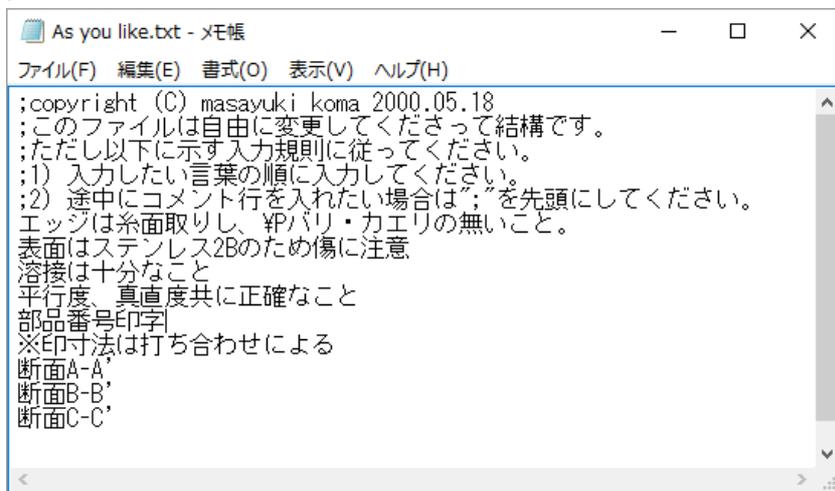
オプション：「引出線文字として挿入」にチェックを入れると、自由文、定型文を引出線文字として図面に挿入することができます。

● 定型文編集方法

文字列挿入コマンドの定型文リストに表示される文字列は、コマンドの準備で任意の場所に置いた 3 つのファイルのうちの「As you like.txt」というテキストファイルから読み取っています。



As you like.txt をメモ帳やテキストエディタで開き、編集することで定型文リストを編集することができます。



※ “ ; ”が先頭にある行はコメント行です。定型文リストには表示されません。

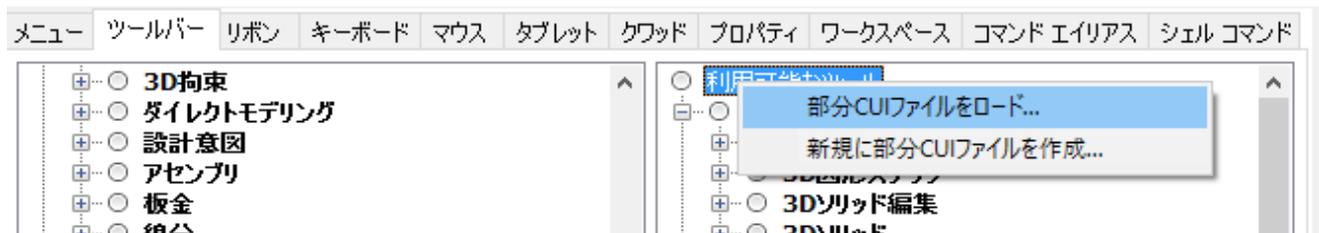
※ 1 行がひとつの定型文として扱われます。

改行したい場合は¥P を改行位置に挿入します。このテキストファイルで改行すると別の定型文として扱われます。

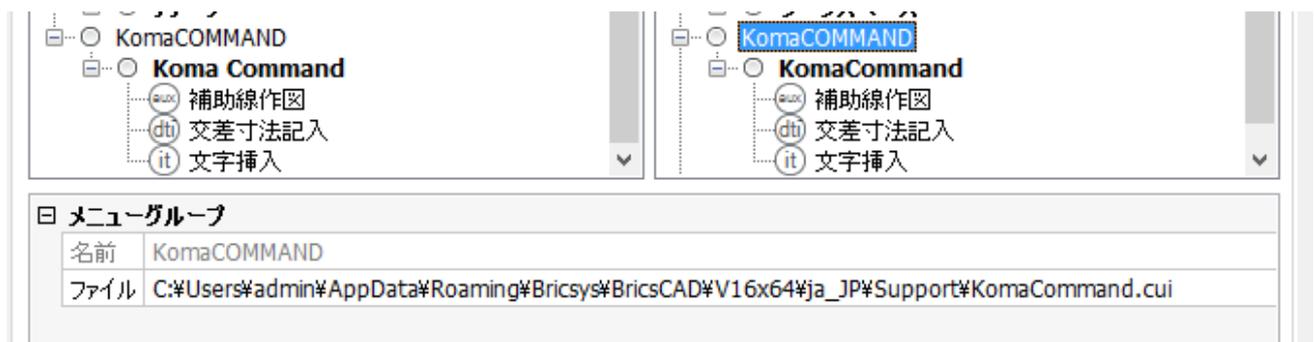
● 付録：ツールメニュー(KomaCommand.cui)

必要に応じて部分 cui ファイルをロードしてご使用ください。

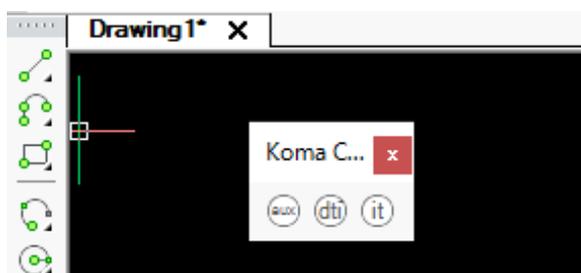
- 1.KomaCommand.cui をサポートパスにコピーします。
- 2.BricsCAD を起動し、[ツール]-[カスタマイズ]を選択します。
- 3.カスタマイズダイアログの「ツールバー」タブを選択します。
- 4.利用可能なツールを右クリックし「部分 CUI ファイルをロード」を選択します。



- 5.support フォルダの” KomaCommand.cui”を選択し、[開く]をクリックします。
- 6.KomaCommand がロードされます。



- 7.カスタマイズダイアログの[OK]をクリックし、保存します。
- 8.ツールバー上の任意の場所で、右クリックし「KomaCOMMAND」「Koma Command」をクリックします。
- 9.ツールバーが表示されます。



(ツールアイコンについて)

ツールアイコンのイメージは“略記”を使用しています。環境によっては文字の色が見えにくくなりますのでご了承ください。

以上